

【質疑応答】

R7.3.11 佐奈地区

参加者①：基本計画に掲載している概算事業費について、町として適当であると考えてるか。

町長：概算事業費の総額約77億円は目安であると考えている。今後の資材高騰等の動向を注視する。

参加者①：総事業費が77億円を超えた場合、予算措置をとることを想定しているか。

町長：総事業費が想定額を超えた場合は、予算措置を実施する。

参加者①：今後設計段階において、その他の施設が必要となった場合、予算措置するか。

町長：予算措置を実施する。

参加者②：4校統合時の通学路について、役場から学校までの間で歩道がない部分があるが、どのような対応を考えているか。

事務局：4校統合時のスクールバス通学と徒歩通学の区分を検討している。文部科学省からは4kmをひとつの基準としているが、それよりも短い距離（2.5km程度）を基準とすることを検討している。基本的に歩道等が整備されて安全が確保できる経路を通学路として指定する想定である。また、整備が必要であれば整備工事を検討する。

参加者③：統合校における1学級の適正規模は何人だと考えているか。

事務局：文部科学省の基準では1学級あたりの人数を35人としている。新統合校においては、児童の習熟度に応じた分割を授業によって実施することを検討する。

参加者③：統合に伴う子どものこころのケアをどのように考えているか。

事務局：子どもたちの環境変化による影響について、考え方を資料2の3頁に記載している。環境の変化により、ストレスを感じる子どもがいることや特別支援の子ども、馴染めない子どもがいることは、十分に予測される。支援員の増員や心理学、医学等専門性のある方々と連携したい。現在は、合同での修学旅行やそれに伴う事前交流を実施している。学校の協力が必要であるが、統合に向けて、事前交流の回数を増やすなどし、子どもたちの負担軽減につなげたい。

参加者①：子どものこころのケアについて、予算措置は考えているか。心理カウンセラー等の専門的なケアについては費用が発生すると考える。

町長：必要に応じて予算措置を検討する。

参加者④：佐奈小学校の既存施設は、4校統合後はどうなるのか。

事務局：全ての既存小学校の跡地活用について、準備委員会で検討する。施設によっては、老朽化の状況に応じて解体する可能性もある。

参加者④：跡地活用について、地域の意見がどのように反映されるのか懸念している。地域から提案があったとしても、実績がないことを理由に却下されないか心配である。

事務局：跡地活用については、地域の意見を聞いて検討する。具体的な提案や意見を聞いたうえで、反映の可否について検討する。

参加者⑤：統合に伴って、既存の体操服等の指定をどのように考えているか。切り替え時は、既存校の体操服で暫く良いのか、新しい体操服の購入補助金等を考えているのか。

事務局：3校統合に伴う体操服等の統一は想定していない。4校統合時の体操服の指定等については今後検討する。また、現体操服の猶予期間や買い替えの補助金等についても今後検討していく。

参加者⑥：学校統合に関する情報を頻度高く、発信してほしい。

R7.3.12 津田地区

参加者①：全児童をスクールバス通学とする想定か。スクールバスの考え方を教えてほしい。

事務局：4校統合時のスクールバス通学と徒歩通学の区分を検討している。文部科学省は4kmと示しているが、それよりも短い距離（2.5km程度）を基準とすることを検討している。距離だけでなく安全性を考慮して検討する。

参加者①：天啓池から北側の拡張した町道は、歩道が整備されていないが、どのように考えているか。

事務局：今後、地権者の意向もあるが用地買収のうえ、歩道を整備することも検討している。教育委員会だけでなく、庁内の複数課で検討すべき事項であると考えている。

参加者①：埋蔵文化財の区域に入るか。

事務局：区域に入っているが、本調査まで進むことは無いと聞いている。試掘や調査はする。

参加者①：風致地区として、どのような規制があるか。

事務局：環境に配慮し、建物や開発を規制するものである。現在他課と連携して調整している。本計画地は風致地区に該当しているが、学校施設の整備であれば問題ないことを確認している。

参加者①：既存の経塚について、どのように考えているか。

事務局：場所を移すことを考えている。

参加者②：プール整備の考え方を教えてほしい。

事務局：本計画ではプールを整備せず、民間事業者への委託を考えている。今年度は、勢

和小学校のプールの修繕が間に合わず、授業を民間に委託した経験もある。

参加者③：プール授業について、過去に民間委託を検討したことがある。当時の結論では、学校でプール授業を実施するという意見が多かった。

事務局：本計画におけるプール授業の議論では、民間委託のメリットがあると考えている。猛暑日や雨天でも屋内施設であれば、天候に左右されず水温を調節して授業を実施することができる。勢和小学校で試験的にサンパークへ行っているが、児童・保護者からの評価がとても高いことも要因としている。

参加者④：スクールバスの費用について、保護者負担は発生するか。

事務局：スクールバス費用の保護者負担は想定していない。現在も勢和小学校は、スクールバスを保護者負担なしで実施している。

参加者⑤：用地買収は、どの程度終了しているか。

事務局：今年度末で終了予定としている。

R7.3.13 外城田地区

参加者①：スクールバスについて、どのように運行させるか。

事務局：2月19日に外城田地区PTA会議にお邪魔させていただき、資料を配布した。津田、外城田は、現段階の事務局案であるが、相鹿瀬、成川、野中、田中で一台、もう一台は外城田小学校から土羽方面を考えている。各字停車は難しいので、2～3字集合して乗車してもらうことを考えている。津田地区も2便で考えている。混乱を招くため、4校統合になっても路線の変更はしたくない。

参加者②：民家が無いような通学路は、集合場所まで車で送っている。できれば相鹿瀬、成川は、字で乗車させていただきたい。津田地区も津留、牧は字で乗車させていただきたい。

事務局：今後準備委員会の部会で検討していく。距離だけでなく、安全面を考慮した上で決定していきたい。

参加者②：成川地区は、3校統合時女の子2人になっている。PTA会議の時に配布いただいた資料を見たが、永昌寺まで徒歩通学となっていた。交通量が多い道路を歩かせるのは、避けていただきたい。さらに成川で1歳児の子どもがいることを把握している。おそらく4校統合時1人で徒歩通学になる。それも含めて成川で乗車できるようにしてほしい。

事務局：安全面には十分配慮したいが、歩くことは子どもの成長過程において重要と思っている。文科省で徒歩4km、1時間以内の通学を基準としているが、猛暑や防犯等も考え2.5km程度を基準としたい。通学の安全性を担保した上で検討していく。

参加者②：字の人数状況によってバス停は、変更等考慮していただけるか。

教育長：状況を見て考えていかなければならないと思っている。

参加者③：息子が外城田小学校 1 年生で、今勉強についていくのが精いっぱいになっている。統合するとクラスの人数が増えてしまい学習面が心配で、学習支援等をしていただけるか。

事務局：文科省は、35 人 1 クラスとしているので変わらないと思う。統合校は、習熟度に応じてクラスを分けて授業することもある。ただ、教員不足が現状である。県へこのような取り組みをするため、教員の加配を要望していく。

参加者④：学校の建設場所は、天啓か。

事務局：資料 4 の天啓池東側の丘陵地になる。予定地と書かれているが今年度用地買収が完了し、場所は決定している。

参加者④：警備の件で、防犯カメラを設置するだけではセキュリティの意味がない。児童が登校中に巡回してくれるような警備員を雇わなければ、安全の意味がないと思うので、考慮していただければと思う。

事務局：準備委員会でもセキュリティの話がでていますが、現在の技術が 5 年～6 年後になると時代遅れになる場合もある。費用の話にもなるが、その時の最新設備を取り入れたいと考えている。また、地域に開かれた学校というコンセプトもあり、相対している部分もある。警備員を雇うことが一番のセキュリティだと思っているが、コスト面も考え何が一番いいのか、今後検討していきたい。

参加者⑤：概算事業費について、今後物価上昇が見込まれる中で、どう考えているか。また、事業手法に PFI と書かれているが現段階で、どのような手法で考えているか。

事務局：可能性として、従来方式、PFI、DB の手法で何が町にとっていいのか数値化する。来年度調査する予定。

参加者⑤：全国的に学校の PFI 事例はあるか。

事務局：四日市市では、十数年前に教育現場だけの PFI 手法がおこなわれている。ただオペレーターの部分で業者の儲けが出るか分からない。昨今、入札不落が多いため、どの手法が一番いいのか調査した上で検討し進めたい。

参加者⑤：現時点で 77 億となっているが、今後上昇する見込みが十分にあると思われるので考慮していただきたい。

ここまで説明会を開いて、開校できないのは良くないと思うので、様々な可能性を探っていただきたい。多気町 1 年分の予算を使うことになると思うので、十分配慮していただきたい。

町長：概算事業費であることは、承知していただきたい。

参加者⑥：資料 2 今後の協議について、全保護者が停められる駐車場はあるか。現在外城田小学校は、人数が少ないため問題ないが 3 校統合した時、全台駐車することができるか。また、外城田小学校は、現在ジャージ登校になっている。他の学校は、違う服を着て通学している。どの学年のタイミングで決まるのか、現段階で決まっていることがあれば教えていただきたい。

事務局：佐奈小学校は、学校周辺合わせて 100 台程度だと思われる。今後の検討課題であるが、駐車場が不足した場合、例えば役場周辺に停めていただき、臨時バスで送迎することも案として考えられる。相可小学校は、現在路上駐車で停めているが地元の理解があつてのことで、3 校統合ではそのようなことはやめたい。ジャージの件について、学校の指定用品を決める時期は、考え方が様々で今後準備委員会で検討していきたい。指定用品を作らないということも考えたいと思っている。

教育長：指定用品については、保護者の負担にならないように考えたい。佐奈小学校は、実際駐車場の台数は少ない。行事ごとの考え方であるが、時間帯を学年でずらして行うことも今後検討していきたい。

参加者⑦：佐奈小学校の教室で 35 人入るか。

事務局：事前に計測して、入ることを確認している。

参加者⑧：学校統合すると様々な人が集うので、服装で陰口やいじめ等発生することが考えられる。できれば指定服を作っていただきたい。

事務局：今後の検討課題の 1 つで準備委員会、部会で検討していきたい。

R7.3.14 相可地区

参加者①：学校周辺の道路整備について、町内は歩道がない道路が多いが、通学路となる幹線道路は両側歩道にすべきと考える。敷地内の計画だけでなく児童の通学路の安全性についても検討していただきたい。資料 4 施設計画の図面では、出入口は正門のみになっている。災害等考慮し正門以外に緊急時用の通用門の設置を検討してほしい。

事務局：敷地周辺には歩道がない道路が多いことは認識している。児童が通学する道路は、安全性を考慮して歩道の整備を検討する。災害時のための通用門については、今後の造成設計の参考にさせていただく。

参加者②：資料 2 「児童数の現状」と「児童数の推計」において、外城田小学校 6 年生の児童数が違うのはなぜか。また、「児童数の推計」の合計が違うのはなぜか。

事務局：特別支援学級の児童を割り振っている。児童数の合計は、誤りである。

訂正 (164 → 163)

参加者③：資料 4 ゾーニング図の地域交流室は、どのような用途で使用するか。

事務局：地域交流室は、運営協議会等で地域学習のコーディネートや地域と学校が連携した活動を行うスペースとして活用する想定である。

参加者③：みんなが使える部屋ではなく、学校関係者が使う部屋か。

事務局：セキュリティ、防犯という考えと相對するが、地域の代表が集まり活動する諸室として活用することを想定している。

参加者③：ゾーニング図の色の意味は何か。

事務局：ゾーニング計画では、地域開放をする可能性がある諸室を青色、普通教室を黄色、特別教室を緑、職員が利用する諸室をピンク色に着色している。

参加者④：造成するにあたり、天啓池横の道路の高さからどれくらいになるか。コメリと相可高校の間にある道路は使うか。

事務局：学校用地内の道路は、グラウンドや校舎を建設するので無くなるが、4m～5m 幅の周回道路を検討している。最終的に、天啓池横の道路に繋ぐことを考えている。高さについては、現段階で等高線などからの計測になるが、天啓池横の道路から 2m～2.5m 程度上がると予想している。今後、測量調査を行い、詳細を検討する。基本的に現場内で土の切盛をするので、ダンプトラックで土を搬入、搬出することは考えていない。

参加者④：風の丘横の道路の高さからどれくらいになるか。

事務局：天啓池の横の道路から 2.5m 程度上がり運動場は、フラットになることをイメージしていただきたい。(南勢水道事務所の地盤高と同程度を想定)